

## ◎令和元年度の学校評価に関するまとめ

### [自己評価]

「教職員アンケート」において、昨年度より半数以上の項目で評価が上がっています。昨年 0.3 ポイント下げた「シアトル語学研修や海外からの訪問団等との交流を推進」は 0.1 上がり 3.5 となっています。これについては、タイ王国ローズガーデン校との交流が僅かに評価されたと考えられます。

1月に中国成都嘉翔外国語学校から生徒 28 名と引率 4 名を受け入れました。8 クラスの授業で交流し、さらに本校生徒の交流希望者 18 名については、昼食と 5 時間目の合唱を通じて交流し、有意義な時間を過ごし貴重な体験に繋がりましたが、アンケート回収後の交流でしたので今回の数値に反映されませんでした。来年度も少しでも多くの外国との交流事業を検討していきます。

「教職員・生徒・保護者アンケート」で同じ項目で比較してみると、教職員と保護者では大きく評価が違っている項目は見受けられませんでした。しかし、教職員と生徒では次の 4 項目について大きな開きが見られました。

- ・「いじめ防止に向けた取組」では教職員は 3.9 ですが生徒は 2.9 でした。今年度は生活アンケートを自宅に持ち帰り記入させるなど工夫し、いじめの未然防止・早期発見、解決に取り組んでいますが、生徒には物足りないように感じていることが読み取れます。来年度は少しでも生徒の視点を取り入れたアンケートにし、いじめを許さない学校づくりを検討します。
- ・「授業の開始時に、本時の到達目標が明示され、理解できた」では教職員は 3.7 ですが生徒は 2.9 でした。授業評価は 1 学期に行っていますので、それを生かし授業の到達目標の明示と生徒にとって分かりやすい授業になる取組を検討していきます。
- ・「アクティブラーニンググループ構築プロジェクトで導入された機器の活用」では教職員は 2.9 と低く、生徒は「ICT機器を活用した授業を受けたい」では 3.7 となっています。今年度はタブレット端末 20 台をセミナー室に常備するとともに短焦点プロジェクター 3 台を購入し、ICT機器を活用した授業を少しずつ増やしていますが、ICT機器を効果的に活用できるよう、さらなる職員の意識改革に取り組んでいきます。
- ・「生徒会活動の活性化」では教職員は 3.7 ですが生徒は 2.5 でした。例年の取組にプラスし、今年度は生徒会を中心とした新たな取り組みとして、東南アジアに衣類や靴をおくる取組を実施しました。にもかかわらず、生徒の評価が前年より 1.3 下げています。生徒会役員は行動しているが、生徒夫々の意識としてはアンケート通りなのか、出てきた数値を分析しやすいよう、アンケート項目の改善を図ります。

以上の評価を充分考慮しながら、より良い学校を目指して来年度全教職員で協力し校務に取り組んでいきます。